

# Weekly report



株式会社 ミンカブ・ジ・インフォノイド  
東京都東京都千代田区神田神保町3-29-1

## 為替週間展望 = ドル円は 105 円台を中心とするもみ合いか

[10月19日からの1週間の展望]

週間高低 (カッコ内は日)		10月12日～10月16日			
	始値	高値	安値	終値	前週比
ドル・円	105.70	105.85(12)	105.04(14)	105.28	-0.34
ユーロ・ドル	1.1812	1.1827(12)	1.1689(15)	1.1697	-0.0129

=====

国内株・金利 / 米国株・金利				
	終値	前週末比	終値	前週末比
日経平均株価	23,410.63	-209.06	日本10年債利回り	0.021 -0.015
ダウ平均株価	28,494.20	-92.70	米10年債利回り	0.732 -0.042

=====

<来週の主要経済統計等>

- 19日 英10月ライトムーブ住宅価格  
日本9月貿易収支  
中国第3四半期国内総生産 (GDP)  
中国9月鉱工業生産指数、中国9月小売売上高  
カナダ8月卸売上高
- 20日 豪中銀 (RBA) 理事会議事要旨 (6日分)  
独9月生産者物価指数  
ユーロ圏8月経常収支  
米9月住宅着工・許可件数
- 21日 英9月消費者物価指数、英9月生産者物価指数、英9月小売物価指数  
米MBA住宅ローン申請件数  
カナダ9月消費者物価指数、カナダ8月小売売上高  
米地区連銀経済報告 (ページブック)
- 22日 米新規失業保険申請件数  
米9月中古住宅販売件数、米9月景気先行指数 (コンファレンスボード)  
米大統領選候補者による第3回テレビ討論会
- 23日 NZ第3四半期消費者物価  
日本9月消費者物価指数  
英9月小売売上高  
ドイツ、ユーロ圏、英国の製造業PMI速報値  
ドイツ、ユーロ圏、英国の非製造業PMI速報値  
米製造業・非製造業PMI速報値

【前回のレビュー】米国株は底堅く推移して、ドル円は大幅な円高に傾くことはないと思われる。ドル円は106円近辺まで上昇しており、このまま107円まで上昇するよ  
うな勢いはないとみられるが、堅調な流れが継続するとした。

【米国の追加経済対策の報道で一喜一憂】

ドル円は14日のNY市場で一時105円に迫るドル安円高に傾いた。米国での追加  
経済対策に関して、ムニューシン米財務長官が「包括的な景気対策取りまとめに依然努  
力はしているものの、大統領選前に何か成し遂げるのは難しい」との発言もあり、市場  
は早期合意への期待感を後退させた。

14日のNYダウは165ドル安と続落しており、リスク回避の動きから円は買われ  
やすくなった。もっともリスク回避の動きとなる場合はドルも買われやすくなること  
で、ドル円は一方方向へ傾きにくくなっている。そうした中でも円買いの動きの方がやや

勝る傾向が強く、ドル円は上値を抑えられやすい。

15日には追加の経済対策でトランプ米大統領が提示額を増額して、民主党に歩み寄りの姿勢を見せた。この日のNYダウは330ドル超の下げとなっていたが、19ドル安まで下げ渋る展開となった。ドル円は小動きながらドル買いの動きとなり、105円近辺から持ち直して105円台前半まで上昇した。

こうした中、22日に開催される第3回大統領候補者討論会が注目される。15日に予定されていた第2回の討論会はトランプ米大統領の新型コロナウイルス感染の影響で中止となった。民主党のバイデン氏が優勢と報じられる中で、22日の討論会でトランプ米大統領が巻き返しを図れるかが注目される。

米国での追加経済対策は、いずれは合意に達するとの見方が根強い。ただ、合意までは紆余曲折がありそうで、大統領選前に決着するのは難しいとみられる。また、欧州では新型コロナウイルスの感染再拡大により、景気や株価への悪影響が警戒されている。こうした中、ドルインデックスは9日に93手前で下げ止まると、それまでの下げの反動やリスク回避のドル買いの動きなどから上昇に転じている。

ドルが買われる場面では円も買われやすくなっており、ドル円は105円台でのみ合いが継続している。105円割れでは買いに支えられやすくとみられるが、106円超では売りに押されやすくなりそうだ。このため、ドル円は105円台を中心とするのみ合いが続くとみられる。ドル円の目先の予想レンジは、104.80～106.30円。

今後の日米の経済指標やイベントとしては、19日に日本9月貿易収支、20日に米9月住宅着工・許可件数、21日に米MBA住宅ローン申請件数、米地区連銀経済報告（ベージュブック）、22日に米新規失業保険申請件数、米9月中古住宅販売件数、米9月景気先行指数（コンファレンスボード）、米大統領選候補者による第3回テレビ討論会、23日に日本9月消費者物価指数、米製造業・非製造業PMI速報値などがある。

#### 【ユーロドルは上値の重い展開か】

ユーロドル9日には1.1831前後まで上昇したものの、その後は下げに転じている。13日に発表された10月の独ZEW景況感指数が56.1となり、大方の事前予想の72.0や前回の77.4を大きく下回ったことが嫌気されてユーロ売りの動きに傾いた。この日は1.1790近辺から1.1730付近まで値を崩すこととなった。その後も軟調に推移して、16日には1.17近辺まで下落している。

欧州では新型コロナウイルスの感染再拡大により、外出や行動規制の強化が打ち出されており、景気への悪影響が警戒されている。フランスではパリやマルセイユなど一部の都市で夜間の外出が禁止される。イタリアでは非常事態宣言を来年1月末まで延長して、英国では一部の地域でパブやバーなどの影響が休止となる。ドイツの首都ベルリンでも深夜のレストランやバーの影響が禁止された。

欧州での新型コロナウイルスの感染再拡大による景気への悪影響が今後さらに深刻となる可能性があり、ユーロドルは上値の重い展開が継続するとみられる。ユーロドルの一時的に戻しても上昇は限定的となり、下落基調で推移するとみられる。ユーロドルの目先の予想レンジは、1.1550～1.1830ドル。

日米以外の今後の経済指標やイベントは、19日に英10月ライトムーブ住宅価格、中国第3四半期国内総生産（GDP）、中国9月鉱工業生産指数、中国9月小売売上高、カナダ8月卸売上高、20日に豪中銀（RBA）理事会議事要旨（6日分）、独9月生産者物価指数、ユーロ圏8月経常収支、21日に英9月消費者物価指数、英9月生産者物価指数、英9月小売物価指数、カナダ9月消費者物価指数、カナダ8月小売売上高、23日にNZ第3四半期消費者物価、英9月小売売上高、ドイツ・ユーロ圏・英国の製造業PMI速報値、ドイツ・ユーロ圏・英国の非製造業PMI速報値などがある。

※投資や売買についての判断は自己責任でお願いします。

---

<免責事項>

本レポートは情報の提供のみを目的としています。投資に関する最終判断はご自身の責任においておこなわれるようお願いいたします。また本レポートに掲載している情報の正確性については万全を期しておりますが、人為的、機械的その他何らかの理由により誤りがある可能性があり、株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイドは、利用者がこれらの情報を用いて行う判断の一切について責任を負うものではありません。また、株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイドが提供するすべての情報について、許可なく転用・転載等することを固く禁じます。

<著作権について>

本レポートの著作権は、原則として当社(株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイド)が保有しており、著作権法、その他の法律および条約により保護されています。本レポートご利用のお客様は、私的使用目的の複製、引用等著作権法上認められている範囲を除き、当社およびその他著作権者の許諾なく、これらの著作物を翻案、公衆送信、営利を目的とする使用等いかなる目的、態様においても利用することはできません。